

今回はお金のほなし。

これまで住まいについて幾つかのテーマで述べてきたが、建物を建てる上で価格（コスト）はやはり大きな課題である。「この予算の中でいったいどれくらいの建物がたつのか？」「希望を満足する建物を建てるのにいったいいくらかかるのか？」といったことは、ほとんどの方に共通する疑問である。予算自体は施主の自身がよく考えられ、決めておくことになるが、建てる方法如何によつては、出来上がったものは千差万別で、その満足度もかなり差がでてしまうことになりかねない。では、その差はなぜ出てくるのか。一言で言うると、価格と価値の合致の度合い（広義のコストパフォーマンス）だと思つう。

・建物の価値とは？

では、建物における価値とは何だろうか。これは実に様々で、例えば一般建築においては、

建物の目的によるもの
 （例：生産性、集客性等）
 使用材料や設備による
 建物自体のグレード
 効率性、快適性
 芸術性、意匠性
 耐久性、持続性（省エネ、ランニングコスト、メンテナンス含）
 環境や景観への影響

等々であり、さらに住宅に関しては、夢の実現度や住心地などが付加されることとなる。

しかし、これは作り手だけではなく施主側にも、大きく係わることになるのは明らか

である。つまり、まず希望や理想といったものをはじめ

様々な事柄を整理することが必要になってくる。そして、どうしてもこだわりたいこととそうでもないところの優先順位を整理する。

これはもちろん、専門家に相談しながら進めてゆくこともできる。私はいつも施主の方とこの話をとことんすることにしていく。なぜならば、色々な工夫と手法によつて、予算の調整というのは可能になってくるからである。

また、価格を考える上で重要なのが見積である。「社だけの見積と数社での見積では、出てくる価格は違う。どの会社に見積を依頼するか、また見積の中身のチェックももちろん大切である。これは、工事会社とは関係のない中立の人間（専門家）に任せることをお勧めする。

・ローコスト建築

ローコスト建築という言葉が聞かれるが、価値が低くて価格が安いだけでは単なる「安物」に過ぎない。少ない予算でも「安物」にならない建物は可能である。

価値と価格が適正なバランスを保ち、なおかつ建てられる方の納得のいく建物こそ本当に価値ある建物であると思つう。「この予算でこんな家が建つなんて！」と喜んで下さる声を聞くと、この仕事をし

て本当によかったと思つう。